

## 社会実験の概要

期間:平成26年8月6日(水)～平成27年3月18日(水)

内容:

### 1. ヒューマン・テクノロジーファンド実験

- ①住民等による景観管理(牧畜業、農林業従事者等による草刈り・清掃)
- ②道路利用者や来訪者(トレイルウォーカー、ツアー客等)による景観管理

### 2. マネーファンド実験

- ①道路空間を活用した施設(シーニックマルシェ)による資金開発
- ②民間事業者とタイアップした資金開発(クラウドファンディング、BOOK募金、イベント時の募金)

道路の景観管理作業の実施状況



バスツアー参加者の清掃体験



道の駅「朝霧高原」でのシーニックマルシェ



ネット上での資金集め(クラウドファンディング)



## 実験結果

### 1. ヒューマン・テクノロジーファンド実験

期待された効果	実験結果	実験結果に対する評価
牧畜業、農林業などの地域力を活用して、住民等が継続的に草刈や清掃を行うための体制づくりを検証。	住民等の理解が得られ、次年度以降も継続していく意思を確認出来た。	地域住民や事業者、市民団体との協働が、『景観管理』の担い手として期待出来ることが分かった。
トレイルウォーカーやツアー客などによる清掃活動への参加を検証。	ウォーキングイベント参加者による清掃活動を実施し、参加者からは高評価であった。	道路利用者や来訪者による「景観管理」への寄与は可能である。

### 2. マネーファンド実験

期待された効果	実験結果	実験結果に対する評価
道路空間を活用した施設（シーニック・マルシェ）の出店による資金開発の仕組みを検証。	マルシェを11日間出店し、出店協力金として、33,000円の資金が得られた。	資金開発手法として評価は高いが、今年度は認知度が低く効果は低かった。
民間事業者とタイアップした資金開発	クラウドファンディング504千円、BOOK募金76千円、イベント時の募金47千円	継続的に資金開発に向けて引き続き検討が必要。

## 本格実施に向けた課題

### ①ヒューマン・テクノロジーファンド実験

安全確保、作業危険箇所の品質管理、道路作業届手続き等に課題があり、道路管理者や専門業者に支援を求める等の対策が必要である。

### ②マネーファンド実験

シーニック・マルシェについて、認知度、魅力の向上、占用手続き等の簡素化といった課題があり、実施時期(夏などの繁忙期等)の検討、企業との連携、道路管理者による支援等が必要である。